

H29

平成29年度補正
ものづくり・商業・
サービス経営力向上
支援補助金

クライムファクトリー株式会社

■事業

農機具向け中型サイズ金属加工部品の
高精度化と短納期の実現

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

オークマ(株)製 立型マシニングセンタ MB56-VB型

金属部品のマシニング加工に特化 高精度高品質を追求

【経営者の思い】

「挑戦なくして成長はない。ものづくりの道を探求し続け、日本のものづくりを支え、社会の未来に貢献する」

エンドミルやドリルなどの工具を、高速で回転させながらワーク(作業対象部品)を切削するマシニング加工。クライムファクトリー株式会社は創業以来、金属部品のマシニング加工に特化し、年間数千種もの各種部品製造を手掛けている。農機具向けの部品をメインに、船舶や自動車、航空機などの小型・中型金属部品を加工し、高い技術力は県内外で評価されている。導入した高性能マシニングセンタでも高精度、高品質を追求しており、さらなる売上増を目指している。

マシニングセンタは、複数の刃物を自動交換できる内部機構を持ち、プログラミング制御で様々な加工を1台で行えるのが特徴だが、プログラムや手順には職人の経験や技術力が大きく関わる。高木敏之社長が「仕上りの品質で機械が占める割合は、3割程度。残りは職人の技術力と作業環境。同じ機械でも、工場や職人によって出来上がりは大きく違う」と語り、「30社の取引先に断られた末に、弊社を知ってコンタクトしてきてくれた会社もあった。困っている取引先の役に立てる喜びはひとしお」と胸を張る。

同時4軸マシニングセンタ導入で 生産性と精度が一層向上

かつては農機具向け部品加工が売り上げの約7割を占めていたが、農機具の大型化が進んだことによって中型サイズの金属加工依頼が増加。そこで従来の機械より作業面が大きな同時4軸立型マシニングセンタを導入、500~600ミリほどの中型部品加工も容易になった。また以前は、加工面が変わるごとに段取り換えが必要だったが、新設備では作業テーブルが移動するため部品を取り付け直す手間がなくなった。そのため加工時間が大幅に短縮でき、部品を取り付ける際の位置決め精度も高くなった。加工できる範囲の部品が広がった上に、一層精度も向上したことで、取引先の数も倍増し、扱う種類も格段に増えた。受注拡大を受け、2020年にはこれまで保有していなかった横型のマシニングセンタも導入。加工物の4面を一気に加工できる上、

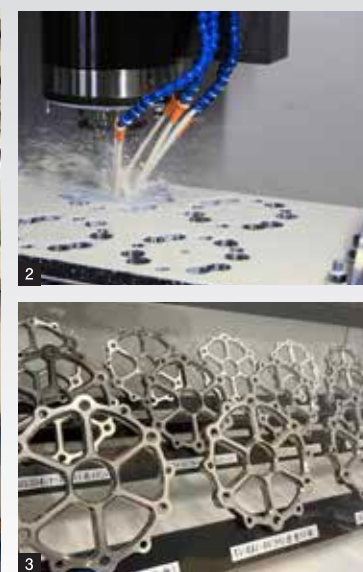


代表取締役 高木敏之

☒ものづくり技術 ☐革新的サービス



1 導入したマシニングセンタ
2 導入したマシニングセンタで加工している様子
3 サンプルワーク



さらに大型の部品加工も可能になり、5~1,000ミリ程度までのサイズに対応できるようになった。

高難度のワークに挑戦し続け 業界の“駆け込み寺”的存在に

あえてマシニング加工に特化してきたのには理由がある。「手を広げればどうしてもレベルが低い分野も生まれてしまう。絞り込むことで、全国でも戦えるレベルの技術力を追求できていると自負している」と高木社長。機械のパフォーマンスを最大限に発揮させるため、工場の温度は、冬でも22度、夏は26度程度に保ち、常時安定した加工精度を実現している。他社ができないような高難度の部品加工にあえて挑戦し続けることで、職人一人一人のスキルは確実に磨かれている。コロナ禍でも大きな落ち込みはなく、2020年7月には過去最高の売り上げを記録。新工場建設や従業員増加の構想もある。「自分自身が現場に出て、目を配りたいので極端に会社を大きくするつもりはない」と高木社長。「ほかができない技術を磨き上げ、業界の“駆け込み寺”のような存在でありたい」と意欲を見せる。

■Company Data

クライムファクトリー株式会社



クライムファクトリー

代表者名：高木敏之
設立年：1995(平成7)年
資本金：3,000千円
従業員数：7名
主たる業種：精密金属部品加工業
本社：〒699-1113 雲南市加茂町東谷1126-1
電話：0854-47-7100
FAX：0854-47-7200
URL：https://www.climbfactory.co.jp/